

科目名 Course Name	災害心理学 Disaster Psychology				ナンバリング No.	A2-012	
年次	1 年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	渡邊 明男						
連絡先(質問等)	C-Learning で対応。または本館2階研究室。						
必修／選択	選択						
関連 DP	DP2, DP3						
授業の概要と 到達目標	災害時の混乱に対処し、被害を最小限に抑えるために、予測困難な自然災害や事故などの災害に遭遇した時の人間の心理と行動の特徴、災害体験による心理的变化の特徴、災害時に取るべき行動と支援等を学ぶ。 ①災害時と平常時では人間の心理と行動が異なることを踏まえ、緊急時に避難する際の準備行動を身に付けるようにする。 ②被災した人々の立場や心理面に配慮した支援の行動を身に付けるようにする。						
授業の方法	講義形式およびグループワーク・ペアワーク等						
学習成果	L01	地域のハザードマップを活用し、災害時に自らの命を守る行動ができる。また、被災した人々の心を守ろうとする態度を持てる。					
	L02						
	L03	災害によるストレス障害の長期にわたる影響を理解し、支援行動をとるための知識と態度を習得する。					
	L04						
課題に対する フィードバック	課題等の結果は、重要点をまとめて、フィードバックする。						
教科書／ 参考図書	【教科書】野上達也著『災害から家族と自分を守る「災害心理」の基礎知識』（セルバ出版）ISBN：978-4-86367-643-5						
履修上の留意点 やルール等	グループワーク・ペアワークに積極的に取り組むこと。 事前・事後学習に費やすべき時間の目安は毎回 180 分とする。						
担当教員の実務 経験	高等学校、中等教育学校の校長職 8 年他						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	積極的に授業に臨み、自らの考えを深める姿勢を持つことが期待される。	15		15	
レポート/作品	S 評価は、論理的な構成であること、提出期日を守っていることである。	10		10	
発表	S 評価は、自分の考えを論理的にまとめ、わかりやすく発表できること。	5		5	
小テスト					
試験	災害時の心理学的な特徴等を理解し、適切な支援行動の基礎が身に付いているかを確認する。 成績評価:S(傑出した内容)=90－100、A(平均を上回る内容)=80－89、B(平均的内容)=70－79、C(平均を下回る内容)=60－69、D(左記以外の内容)=0－59	20		20	
その他					
合 計		50		50	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス、災害映像視聴
	事前・事後学習	映像視聴後のレポートに取り組む
2	授業内容	災害発生前の心理
	事前・事後学習	自分の町のハザードマップを調べて印刷する
3	授業内容	災害用語と災害情報の受け取り方
	事前・事後学習	災害時に決断を迫られる問題や、各自の家庭で備えるべき物品や食料を考える。
4	授業内容	津波の恐ろしさ
	事前・事後学習	自分の考えをまとめ、深める。
5	授業内容	災害発生後の心理と行動傾向
	事前・事後学習	問題点の整理と確認を行う。
6	授業内容	逃げ遅れの原因
	事前・事後学習	問題点の整理と確認を行う。
7	授業内容	災害発生後の買いだめ行動
	事前・事後学習	自助・共助・公助について自分の考えを整理する
8	授業内容	災害発生時のパニック
	事前・事後学習	人間の心理的特性を整理してまとめる。
9	授業内容	パニックと群集事故
	事前・事後学習	人間の心理的特性を整理してまとめる。
10	授業内容	災害発生直後の略奪行為の実態と要因
	事前・事後学習	先入観にとらわれず、客観的に物事を見て考える姿勢を身に付ける
11	授業内容	災害と犯罪
	事前・事後学習	先入観にとらわれず、客観的に物事を見て考える姿勢を身に付ける
12	授業内容	災害発生直後の被災者及び自治体職員の心理状態
	事前・事後学習	災害時にいかに行動すべきかについて考える
13	授業内容	被災者・被災地への支援方法
	事前・事後学習	あるべき支援の方法について考える」
14	授業内容	「災害神話」が人や社会に与える影響
	事前・事後学習	認知バイアスを中心に、災害時に冷静な行動をとるための要点をまとめる。
15	授業内容	「災害神話」に関する心理学的なアプローチ 過去の災害を未来の防災に活かす為
	事前・事後学習	自分なりの防災意識をまとめ上げる。